

世田谷区議会議員 神尾りさ通信

SETAGAYA CONNECT

世界とつながる世田谷へ

REPORT：議会報告

「令和6年 第1回区議会定例会報告」

ACTION：活動報告

「豪徳寺 旧尾崎テオドラ邸がオープン」

「“子どものお店やさん”をはじめました」

INFORMATION：お知らせ

「世田谷区役所本庁舎1期棟と区民会館が完成」

「空き家等の地域貢献活用助成」



2024. Vol. 2

時代の動きを捉えた交通政策について

世田谷区内で東西の移動をする際は、電車の路線が充実していますが、南北の移動は難しいのが現状です。また人口減少や地球温暖化などの課題があり、交通政策の在り方に見直しが必要なのではないか、という視点で今後の交通政策について問いました。区では、環境政策と合わせてCO₂を排出しない移動方法なども踏まえ、区民の移動の多様化に対応しながら交通政策に取り組んでいきます。



▲三軒茶屋でグリーンスローモビリティーを活用した実証実験を行いました

子ども・若者の地域社会への参画について

今年度予定している「世田谷区子ども条例」の改正に向けて、子ども・若者の声を直接聞くための「子ども・青少年会議」の継続と、子どもがやりたいことを地域の大人たちが一緒にになって応援する体制を作ることの重要性について質問しました。



会議は継続され、また新たに子どもたちのやってみたいことを応援する「せたがや子どもFun!Fan!ファンディング」が開始されます。それらの事業を通して子どもが主軸の地域づくりを推進していきます。

福祉文化の醸成について

区には、全国でも数少ない、行政と民間活動団体との協働で生まれた「世田谷ボランティア協会」があり、40年以上にわたって福祉文化を醸成してきました。令和6年1月の能登半島地震の被災地へもボランティアの派遣を行っています。ボランティアは誰かに何かを「してあげる」のではなく、お互いの違いを認めあって「あげたらもらっちゃおう」という文化であることを提示した、故・牟田悌三（むたていぞう）さんの理念を大切に育していくべきと訴えました。牟田さんが残された「お互いさま宣言」は、人間関係が希薄化している現代社会へのメッセージとして捉えることができます。今後の福祉文化の醸成につながるよう、提案を続けます。



令和6年第1回定例会映像



「お互いさま宣言」

丘の上から眺めると
人々はみんな同じに見える
丘をおりて人々の間を歩くと
みんな違う顔をしている
心の中も違うんだ
その違いを
感じあったり認めあったりするのが
人間の面白さじゃないか
お互い他人(ひと)の出来ないことをする
或るときはあげたり
或るときはもらったり
そんな信頼出来るお互いになるのが
昔からあるお互いさま
そんな社会をめざすのが
ボランティアじゃないの
「まだまだいいんだって
お互いさまじゃん」

牟田悌三

世田谷ボランティア協会
<https://www.otagaisama.or.jp/>



ACTION 活動報告

豪徳寺にある明治時代の洋館が、取り壊しの危機にありましたことを知ったのは約4年前。英国人の母と日本人の父をもち、政治家・尾崎行雄の妻となった尾崎テオドラのために建てられたと言われています。私が以前仕事をしていた米国ワシントンDCには、1912年に日本から贈られた桜があります。その桜を贈ったのが尾崎行雄東京市長であるため、洋館とのご縁や親しみを感じながら、これまで保存活動に協力してきました。

旧尾崎テオドラ邸
公式HP

<https://ozakitheodora.com/>



豪徳寺 旧尾崎テオドラ邸がオープン



漫画家さんを中心とするさまざまな方々の協力により、保存されることになりました。2024年3月1日にカフェや漫画ギャラリーとしてオープンしました。保存活動の発起人であり、漫画家の山下和美さんによる「世田谷イチ古い洋館の家主になる」には、これまでの保存の経緯が描かれています。旧尾崎テオドラ邸の1階では、アフタヌーンティーや英国にちなんだお菓子や紅茶などを楽しめます。2階では、さまざまな漫画家さんの作品の展示が行われます。ぜひお越しください。

PTAで卒業生にプレゼントをしました！

息子の小学校のPTA会長を務めて4年目になりました。3月には、小学校を卒業する子どもたちに、PTAから「逃走ゲーム」をプレゼントしました。スーツを着たSPが鬼になり、校内を使って鬼ごっこをするイベントです。子どもも大人も全力で遊んで、楽しい思い出になりました。地域の人たちが世代を超えてつながれる小学校になるよう、これからもがんばります。



▲保護者扮するSP

子どものお店やさんをはじめました！



「子どもが主役のまちを作りたい！」という思いに共感してくださった地域の方々と一緒に、池ノ上商店街の店舗をお借りして、「子どもたちのお店やさん」を開店しました。



フルーツポンチやココア、いちごあめなど、子どもたちが売りたいものを商品化して、PRや販売、収益の計算まで子どもたちが行います。月に1回の営業日には、街の人たちが集ってきて、たくさんの笑顔が生まれます。子どものやりたい！を形にできる場所がもっと増えていくと良いです。

子どもたちのやりたい！を形にできる場所がもっと増えていくと良いです。



世田谷つながりの場が配信10回目を迎えました！

世田谷にゆかりがある方をゲストに迎えたYoutube対談。これまで10回の配信を行いました。「子育てと仕事の両立」「元気の理由、生きる理由」「食の未来」などのテーマで、さまざまな活動をされている方とつながることができました。チャンネル登録の上、お時間があるときにご覧いただけたら嬉しいです。

世田谷つながりの場
YouTube



https://youtube.com/@setagaya_tsunagarinoba?si=yeSlodE8Gq7CxCXO



大正末期、私の祖父が居を構えた奥沢の地。長らく空き家になっていた祖父の隠居部屋を開き、シェア奥沢が生まれました。ここには、ちょっと前まで、東京でもごくあたりまえだった風景が残されています。ここで、今失われつつある、大切なものを思い出してください。ふだんの顔のみえるお付き合い、お手伝い、おすそ分け、お返し、といった分かち合い、ものを作ること、創造する楽しみ、地域で共有されるみどり、こういった、お金で置き換えない価値を大切にし、共通の喜びを生み出したいと思います。(シェア奥沢「地域共生のいえ憲章」より)

世田谷区では、空き家を地域のために活用する際の改修費に対し、最大300万円が助成されます。区内の空き家・空室・空き部屋を活用することや、助成後5年以上の活動を継続することなどの条件があります。応募相談期限は6月28日(金)まで。

空き家の相談は
こちら!



がん患者 ウィッグ 胸部補正具購入費用助成

がんの治療に伴う脱毛や、乳房の切除等をされた区民の方へ、
ウィッグや胸部補正具などの費用を10万円まで助成します。

- (1) 世田谷区に住所を有する方
- (2) がん※と診断され、その治療を行っている方、過去にその治療を行った方
- (3) がん※の治療に伴い、脱毛や乳房の切除などにより、ウィッグや胸部補正具等が必要である方

※乳がんなどの「固体がん」だけでなく、白血病・悪性リンパ腫などの「血液がん」も含みます。



▶ がん相談コーナー

助成金・
申請について
詳細はこちら

世田谷区 HP



世田谷区役所本庁舎1期棟 区民会館が完成しました



建設工事を請け負った建設会社の不備により、完成に遅れが生じている区役所新庁舎ですが、このたび1期棟と区民会館が完成しました。新しくできた東棟には吹き抜け構造の区議会議場があり、親子でも傍聴できる部屋が増設されました。ぜひ一度足をお運びください。

神尾りさのオススメ情報!

「ハンドメイドアクセサリー mika.kami.mika」天然石や、思い入れのある宝石などを使って、世界に一つだけのアクセサリーを作ってくれる公益財団法人日本生涯学習協議会監修パールストリング技能認定取得されているみかさん。私もいくつか購入し、身に付けるたびにパワーをいただいています。片方だけなくしたピアスや、仕事で毎日身に付けるネックストラップなどの注文もOK。記念日や自分へのご褒美にいかがですか？



公式Instagram ▶



【お問合せ】

mika.kami.mika@gmail.com

世田谷区議会議員 神尾りさ

東京都世田谷区生まれ。聖心女子大学英文科を卒業後、渡米。米国メリーランド州小学校日本語教師、ワシントンDC日米協会・教育プログラムディレクター等を務める。2016年に帰国後、一般社団法人日本国際教育協会を設立、専務理事。2019年に世田谷区議会議員初当選、現在2期目、無所属「国際都市せたがや」。世田谷区立小学校PTA会長。家族は夫と息子。



神尾りさ
@risakamio

各種SNSのフォロー
宜しくお願ひいたします！

神尾りさ
<https://www.facebook.com/kamiorisa>

X
神尾りさ 世田谷区議会議員(無所属)
@RisaKamio



世田谷区議会議員 神尾りさ HP / メールアドレス
<http://kamiorisa.tokyo> / global@kamiorisa.org